

La Saison Special

# イタリア的・美しい人生の愉しみ方。 煌めくジュエリーで、Buon Natale!

生産量・消費量とも世界のジュエリー大国・イタリア。  
ナターレ(クリスマス)のお洒落にも、  
家族や恋人同士で交わすプレゼントにも、  
ジュエリーは欠かせない存在です。  
そこで今回は、イタリアの文化や習慣に詳しい  
ジュエリーデザイナーの水野薫子さんに、  
クリスマスにふさわしいイタリア的ジュエリーの  
楽しみ方を教えていただきました。

## Gioia — それは《ジュエリー》、そして《喜び》。 幸せの記憶は、ジュエリーとともに増えていく。

**赤ちゃんの時から、プレゼントはジュエリー。  
イタリア人は本当に、ジュエリーが大好き。**

水野さんが活躍するイタリアにおいて、キリスト教のお祭り・ナターレ(クリスマス)は一年で最も重要な祝日。ファミリーを大切にしているイタリア人は、両親の家などに集まり、聖なる夜を家族で過ごします。その時に欠かせないのが、ドライフルーツをたっぷり入れたバネーネと呼ばれるパン菓子と、家族それぞれへ心をこめて用意したプレゼント。その王道は、やはりジュエリーです。

「イタリア人は、夫婦や恋人同士に限らず親子や祖父母と孫の間でも、ビジネスの相手でも、頻りにジュエリーをプレゼントし合います。クリスマスはもちろんのこと、たとえば女性が第一子を出産すると、家族や友人は、母になったお祝いとして彼女にペンダントなどを、赤ちゃんには誕生祝いとしてブレスレットなどを贈ります。赤ちゃんが男の子でも女の子でもね。子供の成長過程には日本の七五三にあたる儀式があって、その贈り物も毎回ジュエリー。本当に、みんなジュエリーが大好きなんです」  
幼い頃からジュエリーに囲まれて育つイタリア人。装い方や審美眼はもちろん、贈り贈られる知恵と情熱、贈り方の美意識にも、並々ならぬ

こだわりがあります。

「私は毎年イタリアで個展を開くのですが、お客様は必ずカップルで来場されます。そして女性が足を止めて見

入っているジュエリーがあると、連れの男性が私にそっと囁くんです。

“薫子、あれ取っておいで”って」

一方、贈られた女性もとびきりの笑顔で喜びや感謝を表現し、男性が“やった!”と思えるように気づかいます。そして女性自身も、夫や恋人へ、ジュエリーをよくプレゼントするそうです。「パート

ナーのプレゼント下手を嘆く女性は、まずご自身が贈られ上手・贈り上手になって、男性を開眼させてあげてはいかがでしょう(笑)」

**頑張る女性にこそ、ジュエリーは必要。  
心を込めたジュエリーをクリスマスギフトに。**

次に、贈り上手になる秘訣について水野さんは「日頃から相手に関心を持ち、理解を深めておくことが大切」と語ります。「贈る相手の誕生日や好きな色や可愛がっているペット、趣味などもとても良いヒントです。また、特に稀少性の高い宝石やフルオーダーでない店頭の商品でも、早めに手配をしてインシヤルやメッセージを刻印してもらえば「世界にひとつ」のジュエリーになります」そんな丁寧な心遣いこそ、贈り物の本当の価値なのかもしれません。

水野さんはまた、「頑張った自分へのご褒美ジュエリー」も、「素晴らしいこと」とエールを送ります。「ジュエリーは人に勇気と自信を与えてくれます。仕事や子育てに頑張る女性には、とても必要なものなんです」

そして今年のクリスマスに何かひとつ購入するならば、「ルビーのジュエリー」をすすめてくれました。

「誕生石ではありませんが、私もルビーのリングを常に付けています。ルビーは女性の守り神になる石で、付けると元気が出るし、出会いや良い出来事を招いてくれるように思います。気後れしそうな場面でも、ルビーを付けていると、相手にのまれにくいみたいです。しかもルビーは衝撃や摩擦にも強い石で、少々ぶつけたって傷つかないから、忙しい女性が毎日身に着けるにもピッタリです」

ジュエリーの贈り物は、「あなたを大切に思っています」というメッセージ。今年のクリスマスは、愛するパートナーや家族へ、そして自分自身へ、そんな輝きのメッセージを送ってみてはいかがでしょうか。

●Buon Natale…(イタリア語) merry Christmas

### 水野薫子さんがアドバイス クリスマスの夜を彩る ジュエリー・コーディネート術

**もっともっと、レイヤード。**

日本の女性は、もっとジュエリーの重ねつけを楽しんでもいいのでは? 難しく考えすぎず、まずはお手持ちのリングやブレスレット、ネックレスを重ねてみてください。地金の色を統一する必要はありません。特にクリスマスの華やかな装いには、イエローゴールドにホワイトゴールドやシルバーを組み合わせるコンビネーション使いがピッタリ。たとえば、ウォッチがシルバーメタルでも、その近くにイエローゴールドのブレスレットを1本プラスすれば、イエローゴールドのリングも美しく調和します。

**“自分スタイル”を楽しもう。**

ブランドやプライスよりも装い方にこだわるのが、本当のお洒落。チャレンジ精神を発揮して、真似やお約束通りではない、自分らしい新鮮なスタイルを見つけよう。お洋服とジュエリーをあえてテイスト違いで合わせたり、クラシックなデザインをカジュアルに楽しんだり。みんなが持っている流行アイテムも、付け方やアレンジを変えて、自分流の装いに仕上げてください。

### 水野 薫子 (ジュエリーデザイナー)

ダイヤモンドデザインコンテスト1位、  
インターナショナルパールデザイン  
コンテスト金賞、毎日新聞現代  
宝飾展金賞ほか、16の賞を受賞。  
CITY GOLD社の依頼により日  
本で初めてニューヨークティファ  
ニー・ヴァンクリフ&アーベルのデ  
ザインを手掛ける。ミラノ美術学  
校IEDジュエリーデザイン科講師、  
NHK文化センター講師、クリエイ  
ティブコンテスト審査員などを務  
める。現在ミラノと東京を中心に  
活動。(社)日本ジュエリーデザイ  
ナー協会会員。



お問い合わせ:  
KAOLVCO ☎03-6229-1671(10:30~19:30日・祝日休み)  
www.kaoluco.com

※ La Saison 12月号の表紙、2-3ページに掲載しているジュエリーはすべて水野薫子さんの作品です。